

平成28年8月4日(木)

老球の細道255

## U-18 トステインジャパン快挙！

会津バスケットボール協会 室井 富仁

7月22日(金)～31日(日)までイランのテヘランで開催されている第24回FIBA ASIA U-18バスケットボール選手権大会において26年ぶりにアジア大会決勝戦進出及び2017年のFIBA U-19世界選手権大会の出場権を獲得した。

予選リーグにおいては韓国、レバノンに20点差もつけられ敗退したが、優勝候補のイランやカザフスタンにせり勝ち、なんとか決勝トーナメントに進出した。準決勝ではレバノンに前半苦しんだが、得意のゾーンプレスを含んだチェンジングデイフェンスからの速攻と要所要所での3Pシュート、そしてトステインが一貫して指導を重ねてきた「オートマチックモーションオフェンス」が機能して最後は圧勝だった。

試合はインターネットで見ることができたので放送されているゲームはすべて見た。便利な世の中になったものである。準決勝進出が決まり、あと1勝で世界選手権出場だという時にトステインファンクラブのI先生から「トステインに激励メール」を送ろうと檄文が届いた。早速私も送ったが、あわてていたせいか日本語で送り、その後英語に直そうと思ったが、携帯を新しくしたために英文字変換がわからず、そのままにしまった。

インターネットで試合を見ていると知人がたくさんかかわっていた。ヘッドコーチ、トステイン・ロイブルはもちろんのこと、アシスタントコーチの佐藤光壺先生(大宮北高校)は会津高校時代から何度も練習試合をしたコーチ仲間である。トステインと出会ったのも彼との縁である。頭脳明晰、ユーモアあふれる情熱家であり、常に彼を囲む人が絶えない人気者である。トステインによれば日本のコーチでファンダメンタル指導ではNO1と評される。通訳には元ジャパンエナジーのアシスタントコーチをしていた本永昌生氏がいた。彼には福島国体時に大変お世話になった。選手のベンチの後ろで一生懸命タオルで汗を拭いてやっているのは元女子全日本代表選手・古海(旧姓・原田)五月さんだ。彼女にも福島国体選抜コーチ時代ジャパンエナジーに合宿で大変お世話になった。現在は日本バスケットボール協会のジュニア指導スタッフの任に就いている。そして最後に、選手の中にNO6水野幹太君がいた。福島南高校のキャプテンで同校コーチの水野先生の二男である。水野先生の娘さんもU-18代表だったので凄いとしか言いようがない。

数年前からトステインがジュニア年代の指導を一貫して関わるようになり、日本のバスケットボールは変化してきた。今回の決勝進出(あるいは優勝)がその変化にさらに追い風になることを期待したい。トステインの人柄、コーチング、バスケットボール理論などと長く付き合ってきて、日本のバスケットボールを改革するには彼しかないと確信する。

イランはイスラム教の国であるからアルコールが飲めないと聞いている。お酒大好きなトステインと佐藤光壺先生はストレス解消大丈夫だろうか。今夜日本バスケットボール界全体の期待を一身に決勝戦を迎える二人にそんな心配をするのは杞憂だろう。頑張れ！

大会終了後8月12日にトステインは会津にやって来る。会津の多くの子どもたち、指導者に世界に通用するバスケットボールを今年も指導してくれるだろう。また私たち指導者には夜の懇親会でアジア選手権大会のたくさんの土産話をしてくれるだろう。今年のお盆は亡くなった両親だけでなくトステイン・ロイブルもやってくる。贅沢なお盆になる。